

伊方町報

発行所
伊方町
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03 ☎伊方局38-0211
編集室
町長公室
印刷所
豊豫社
八幡浜市松柏 ☎22-0144



今年は何年です。豊之浦保育所では、ニワトリの一種であるウコッケイをゆずり受け、大切に育てています。本町もコトシのエト「鳥」のように大きく羽ばたき、躍進の年に――。

年頭のごあいさつ

輝かしい平成5年の新春を迎え、謹んでご祝詞を申し上げます。町内の皆様や、遠く町外で活躍の皆様も、ご一家団らんで新しい年をお迎えのことと存じます。日頃は、町政の推進に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、

福祉対策や産業振興を

伊方町長

誠にありがとうございます。心から厚くお礼申し上げます。おかげさまで、私も、町長就任2年目の新春を迎えることができました。皆様方のご理解とご協力によりまして、町づくりの基本である長期ビジョンの策定作業やデザイナーセンターの建設なども順調に進んでいます。また、伊方発電所3号機の建設も、昨年の10月から主要機器の搬入、据え付け作業が始まり、平成

7年3月の営業運転を目指し、工事の山場を迎えています。顧みずと、昨年のわが国は、バブル経済の崩壊で景気の不安定が続き、なにか底冷えするような年でありました。今年も、一層きびしいものがあると思われま

本町におきましても、昨年は町政モニター制度の導入や町政懇談会を開催した他、一昨年の台風19号の災害により被害を受けた農家に対し、改植補助や資金助成等を行い、その復興に努めてまいりました。長期ビジョンの関係では、町内2000人を対象に町民の意識調査を行い、皆様方にご協力をお願いいたしました。それを基に、町の将来像を描き、具体化できるものから順次行っていきたく存じます。なお、今年3月には、老人福祉

議会活動にご協力を

伊方町議会議長

して、温かいご理解とご支援を賜り、おかげをもちまして、円滑な運営と議決機関としての機能を発揮することができました。心より厚くお礼を申し上げます。振り返りますと、昨年は、景気

皆様方のご協力によりまして、順調な町政の推進が図られ、九町小学校校舎並びに伊方中学校校舎の改築、コーストMUROR研修施設のオープンなど、町づくりの骨格的な施設の推進ができました。意

初春のお喜びを申し上げます。

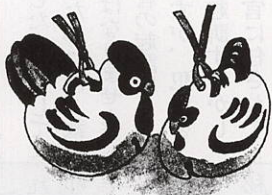
伊方町役場
伊方町 役場
伊方町 助役
伊方町 収入役
伊方町 教育長
伊方町 職員 一同

謹賀新年

伊方町議会
議員 一同

年賀状の禁止

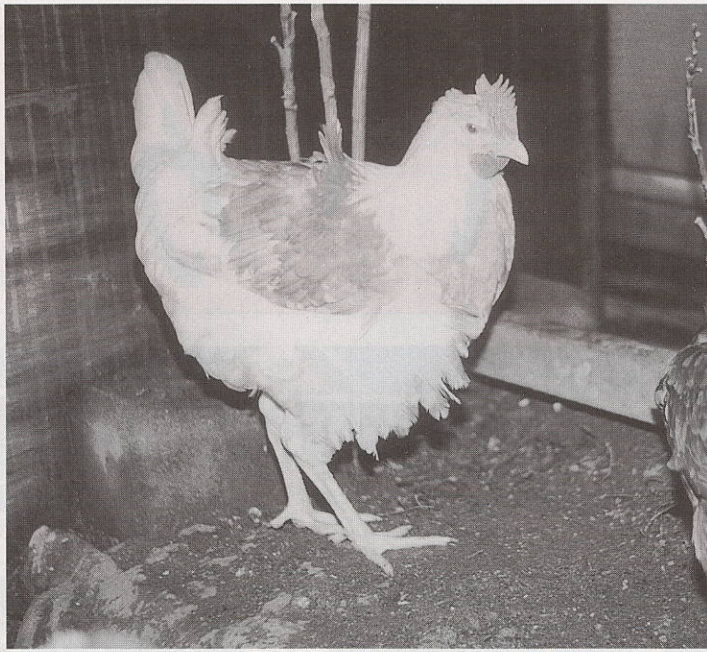
公職選挙法により、政治家が選挙区内の皆さんに、年賀状などの挨拶状を出すことが禁止されています。つきましては、本年も町内の皆さんに差し上げていました、町長並びに町議会議員による年賀状のご挨拶は遠慮させていただきます。



平成5年は、酉(鳥)年です。12支の動物の中で、ただ一つの鳥類です。鳥と言つと、真つ先に思い浮かぶのはニワトリですね。ニワトリと言えば卵。日本人が1年間に食べる卵の数は、1人当たり300個で、イスラエルに次いで第2位ということ。すいぶん、お世話になっている訳ですね。

お国だより 直通便

今年 は羽ばたくか 舞い降りるか



平成五年の干支は酉。とりは十二支の第十位。鶏は(庭鳥の意)家禽として古代から人々に親しまれ、埴輪にも鶏らしいものが発見されている。「古事記」には「常世長鳴鳥」と記され、天照大神が天の岩戸に隠れたときに、これを集めて鳴かせたとある。「万葉集」には「庭津鳥可鶏乃垂尾乃乱尾乃長心毛不所念鴨」という歌があり、鶏を「かけ」と読ませている。

これは鳴き声によってつけた鶏の古名で、当時の鶏の用途については、①もつばら時を知らせることのために飼っていたとする説と、②主として食用にあてられていたとする説との二説がある。

第四十代天武天皇四年(六七三)の詔に「莫食牛馬犬猿鶏之肉」とあること。「延喜式」延長五年(九二七)の神饌に鶏肉や鶏卵が多くみられたこと、「続日本紀」に筑後肥後地方の農家で飼育されていたらしい記事のみえることなどから、②の説が妥当ではないかと思う。

近世には幕府、諸藩の保護奨励策により飼育が著しく広まった。宮崎安貞の「農業全書」にも「にわ鳥は人家に必ずなくては叶はぬ物なり」とある。愛媛県では、毎年、来年はどんな年か、焼物であらわしている。菊間町や伊予三島市の窯元では、十二支の酉の置物を焼きあげ好評を博している。時流を取り入れた千支の焼物を作っている伊予三島市の二六焼窯元では、酉の置物「共力」を焼きあげた。作品は、仲良く並んだ夫婦のチャボ。国会で成立したPKO協力を受け、協力と愛情の大切さを願って「共力」と名付けたそうである。

置物の高さは二五―一四種。三十四年前から毎年、時代に応じて千支の置物を製作。また、藩主に報告のため漕ぎ出した八丁櫓の舟が、瀬に來て舟足がビタリと止まった。漕げども漕げども舟は進まない。この時、乗り組んでいた武將が「ご注進でござる。舟を無事通し給え」と大声で呼ばると、武將の太刀の柄の

飾りにしていた目貫の鶏が一、声高く時を告げた。

すると、そばの小島から「はや夜が明けたか。今夜は餌食を獲りそこねたわい」という魔物の声が出て、間もなく視界がよくなり、舟は矢の如く進んで無事港に着いた。

これは鶏鳴が魔物を退散させたことによるもので、古今東西に共通する伝承を示すものである。鶏鳴に関する伝説は、「ふるさと伊方」にもある。

西年生まれの人には、鳥のように大きく羽ばたいてほしい。

起源のナゾ

初夢を待つ縁起

原始信仰の時代から夢は神霊と結びつけられ、夢に吉凶があると考へ、特に断食などして神聖になったときは正夢が見られると信じられていた。神道や仏教でも古くから「夢告げ」や「夢の知らせ」が行なわれていたが、年頭によい夢を見た

いと願う心は特に強かった。中世は節分の夜から立春の明け方までに見る夢を初夢としていたが、江戸時代の元禄年間(一六八八―一七〇三年)から、正月元旦から二日にかけて見るのを初夢とした。宝船をまくらの下に敷いて寝ることは室町時代から行われ、江戸時代には「お宝、お宝」といって宝船の絵を売って歩くのが、江戸では元旦の一つの景物であった。「一富士二鷹三茄子」はよい夢の代表。

光文書院「起源のナゾ」より



口碑と立ちばなし ③② 〔湊 浦〕

末光神水翁頌徳碑



末光神水翁頌徳碑は、伊方の八幡神社境内にある。神社の一ノ鳥居(大正七年)をくぐり、二ノ鳥居(明治十八年)から神橋を渡って参道歩きくと、拝殿に向って東側に巨大な自然石の頌徳碑が目につく。碑の正面には、

末光神水翁頌徳碑
門 福太郎書

と墨痕あざやかな筆蹟なり。裏側の碑文は斯く読めた。末光神水翁は、神明奉仕四十年。其の間御徳の発揚に専念、一面社会福祉郷土文化向上に寄与せらるること偉大。依つて氏子総代会の決議に基づき、その功績を偲びて後昆に伝ふるため此の碑を建つ。昭和三十四年十二月一日

翁は、明治十八年(一八八五)旧真穴村に生まれた。同三六年教育界に入り十九年間の末光家に養嗣子となる。大正十一年(一九二二)大島小学校長を最後に、八幡神社の宮司となった。

氏子中とある。県神社庁連盟委員、副理事長などの要職を歴任。少年団、青年団、善隣会などの育成に努め、社会福祉事業にも力を尽くす。また、「一心会」の会長に選ばれ、村民の融和と精神修養や時間助成を呼びかけ、郷土発展と文化向上に多大の貢献をした。時に翁は昭和三年(一九二八)享年七十六歳の大往生でした。

催し物ご案内

伊方町成人式

とき 1月15日(金) 10時~
ところ 中央公民館

新春俳句研究大会

とき 1月18日(月) 11時~
ところ 中央公民館

新春講演会

とき 1月23日(土) 13時15分~
ところ 中央公民館
講師 渡辺昇一先生
演題 「日はまだ昇る」

町PTA研究大会

とき 1月24日(日) 9時~
ところ 中央公民館

二見ふるさとまつり

とき 1月31日(日) 9時~
ところ 二見公民館
各種展示・芸能発表会

2月の行事予定

- 2月3日 郡婦人大会 (三瓶町)
- 2月中旬 町内駅伝大会
- 2月中旬 成人講座 (中央公民館)
- 2月中旬 実年講座 (中央公民館)

伊方町見体育振興協会 町見マラソン大会のご案内

伊方・町見体育振興協会では、マラソン大会を次のように開催致します。

- ・4.6km(川永田一里塚折返し)
- ・8km(大浜バス停折返し)
- 第七回ファミリー健康マラソン大会

体力づくり、健康増進に関心のある方、又、親子で参加し、新春の空の下、心地よい汗を流してみませんか。

●第十一回健康マラソン大会

○日 時 一月三十一日(日) 十時スタート

健康マラソン大会

○日 時 二月七日(日) 十時スタート

○集合場所 町見体育館 (スタート)

○集合場所 伊方中学校 (スタート)

○コース

- ・1.5km(役場、商工会経由)
- ・2.9km(中浦公民館折返し)

○コース

- ・2km(農協、新川道路経由)
- ・4.6km(町見中折返し)
- ・7km(田之浦集会所折返し)

※両大会にかかる事故の補償は、一日傷害保険の適用内にとどめる。

俳句くらぶ

- 仲人の任を果たしてぬくめ酒
 - 春を待つ心の隅に齢のこと
 - 静かなる日々の過ぎゆく紅葉山
 - 山々にはぜの炎えぬて防火デー
 - 千柿のほど良く乾き色の良し
 - 極月のポスター多き駐在所
 - 石路も庭に色添え花が咲く
 - 一枝の野菊お膝に弥陀如来
 - 散歩みち紅葉おりなす浦の坂
 - 登校の列小走りや里時雨
 - 時雨ふるや芋賣りの声遠ざかる
 - 青レモン鈴なりにゆれ札所道
 - 名もゆかし千両実らせひとり占め
 - 脱ぎし軍手十指ひらきて暮れ早し
 - 白山茶花どこの家にも老がいて
- 松田紋司朗
城岡さかえ
二宮あきえ
山口あさ子
渡辺なみえ
菊池あつ子
森元ふみえ
山内うめ子
山田やよい
岩見あい子
古田かずゑ
小島キサエ
志賀ともえ
古田和子
樫尾久恵

